

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	学習方法の工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

校 種	種 目	第 1 推 薦	第 2 推 薦
小学校	音楽	27 教芸	17 教出

各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
17 教出	観点 1	学習のふりかえりや資料等のリンクをマークで示し、参考にできるようになっている。楽譜の話をも 3 学年で示し、「音楽のもと」のまとめとして全学年巻末に記されている。
	観点 2	巻頭において、身の回りのものから、音楽に繋がる活動を含む題材や歌手などからのメッセージを掲載しており、児童が興味を持って取り組めるよう工夫している。音楽づくりの題材は多くないが、一つの題材の中の情報量が多い。
	観点 3	掲載されている曲数が多い。(指導者が児童の実態に合わせて選ぶことができる)各学年の学習指導要領に示されていない内容を、第 4 学年から「はってん」として示している。
	観点 4	共通事項を葉のマークで示している。 てんとう虫のマークを付けて活動のポイントを示している。
	観点 5	記載できるワークシートが 3 年から 6 年にある。 旋律の特徴や感じ取ったことを実際に記入できるワークシートとなっている。最後に「書いたものをもとに、この曲のおもしろいところなどを友達に伝えよう」など示している。
27 教芸	観点 1	題材の目標が目次とともに題材のトップページの左側に大きく目立つように示している。また、各教材の学習目標がそれぞれのページの上部に大きく示してある。そのことで指導者や児童が見通しをもって学習に取り組めるようになっている。巻末にふりかえりのページがある。
	観点 2	前学年との系統性が見られる。言葉から音楽づくりをしている。音楽づくりで、何を考えて、どのように言葉にするかを、明確に理解できるよう、子どもたちの発言を例示している。音楽づくりの題材が多い。
	観点 3	低・中・高学年と 2 学年ずつ系統的な題材構成となっており、前学年の学びが次の学年の学びにつながるようになっている。 各学年の学習指導要領に示されていない内容や、より知識を広げる活動を、音符・休符・記号の表にマークとともに、第 3 学年から「ステップアップ」として示している。
	観点 4	活動の手助けとなるヒントを、キャラクターに発言させている。
	観点 5	記載できるワークシートが 3・4 年にある。 曲の感じと曲の感じを生み出している特徴が実際に記入できるようになっている。聴く時のポイントを示している。 曲想の変化が図で表してある。

